



2023年5月2日

各 位

会 社 名 株式会社フーバーブレイン
代表者名 代表取締役社長 興水 英行
(コード:3927 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 石井 雅之
(TEL. 03-5210-3061)

月次売上高速報の開示終了に関するお知らせ

当社は、2023年4月14日付公表「2023年3月期 3月度月次売上高速報に関するお知らせ」をもちまして、月次売上高速報の開示を終了させていただくことといたしましたので、お知らせいたします。

記

当社は、2019年5月17日より、当時2020年3月期の業績予想を開示しないことに代えて、株主及び投資家の皆様の投資判断に有用な情報になり得るものと判断し、月次売上高速報の開示を開始いたしました。その後、2022年3月期より、通期業績予想の開示を行いつつ、月次売上高速報の開示を続けてまいりました。

当社は、さらなる事業拡大及び企業価値向上に向け、取り扱うセキュリティツール商材の拡大、また2021年4月に受託開発・SES（人材派遣）を営むGHインテグレーション株式会社を連結子会社とし、昨年2022年12月に採用支援・人材紹介を営む株式会社アド・トップを連結子会社といたしました。

2023年3月期においても、連結子会社含めた当社グループの月次売上高速報を開示してまいりましたが、当初開示を開始した2020年3月期（非連結・単一セグメント）に比べ、当社の売上高に占める製商品構成及び連結子会社を取得したことにより事業構造が変化しており、連結売上高の推移情報からでは、連結営業利益等に対する影響を推察しがたい状態となっております。また、当社グループは、業績目標とする2025年3月期に連結営業利益5億円の達成、その先の成長に向け、今後も当社の製商品の拡充及びM&A含めた事業拡大施策の模索・検討に取り組み、事業構造レベルの売上高構成や利益創出構造の変革の過渡期にあります。

このような状況の中で、月次売上高速報の開示を継続することは、株主及び投資家の皆様が推察される連結営業利益等の推移、それに伴う投資判断に誤解を招く恐れがあると判断いたしました。

つきましては、月次売上高速報の開示を終了させていただき、業績につきましては四半期ごとの決算開示に集約することといたします。当社は今後も適時適切な情報開示に加え、株主及び投資家の皆様に当社グループについてご理解いただく有用な情報発信に努めてまいります。

以上